

2. 旋律聴音の実施方法

(1) 聴音の課題は、ピアノで演奏したものを収録し、試験会場で再生します。

(2) 実施方法は次のようなアナウンスで行われます。

● 〈アナウンス〉

「これから、旋律聴音の試験を行います。
用意された解答用紙（五線紙）に受験番号、氏名を記入してください」

「次の指示に従い、楽譜を作ってください。
音部記号はト音記号、調はロ短調 h moll、拍子は4分の4拍子、小節は8小節です」
※待ち時間…1分

「次に、課題の実施方法を説明します」
「最初に課題の主和音（基本形）、続いて課題の開始音を弾きます。
拍子（4分の4拍子）とテンポ（♩=ca.66~72）に従って、1小節分“いち に さん し”と
アナウンスし、8小節の課題の全体をとおして1回演奏します。前半4小節の課題を3回演奏し、
4回目には後半の4小節に続けます。それから、課題の後半4小節を3回演奏し、
最後に、もう一度8小節の課題の全体をとおして演奏し、試験を終わります」
※演奏間隔…通奏のあとは1分30秒、4小節の演奏のあとは45秒

「それでは、最初に8小節の課題の全体を演奏します。主和音～、開始音～、いち に さん し」
(待ち時間：1分30秒)

「前半の4小節の1回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「前半の4小節の2回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「前半の4小節の3回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「前半の4小節の4回目を演奏し、後半の4小節の1回目につづけます」
(待ち時間：1分30秒)

「後半の4小節の2回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「後半の4小節の3回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「後半の4小節の4回目を演奏します」
(待ち時間：45秒)

「もう一度、最初からとおして8小節の課題の全体を1回演奏します」
(待ち時間：1分30秒)

「これで、旋律聴音の試験を終わります」

